

はじめに

近年、台風や線状降水帯による大雨・浸水被害が毎年のように発生し、日本各地に深い爪痕を残しています。また、平成23年の東日本大震災、平成28年の熊本地震に加え、令和6年1月には能登半島地震が発生しました。最大震度7を観測したこれらの震災は、私たちの平穏な日常を一瞬にして奪い去る恐ろしさを改めて突きつけました。こうした自然災害は決して他人事ではなく、いつこの豊山町で発生してもおかしくありません。災害そのものを防ぐことは不可能ですが、日頃の備えや地域の危険性を正しく知ることによって、被害を最小限に抑える「減災」は可能です。町民の皆さま一人ひとりが自分事として危機感を持ち、個人・家庭、そして地域全体で備えを万全にしていきましょう。

本書のみかた・使いかた

この防災ガイドブックは、今後発生する可能性がある風水害や地震などの様々な災害について、あらかじめ知っておくべき知識や、避難する際の注意点などを記事や地図でわかりやすく説明しております。

自宅や日常生活でよく行く場所などを、地図上に記して、その周辺で想定される災害の危険性や避難所の場所・経路を確認し、災害が発生した場合にどのような行動をすべきか話し合しましょう。

風水害についての情報は…P2～16をご覧ください。

地震についての情報は…P17～24をご覧ください。

防災対策・避難についての情報は…P25～30をご覧ください。

監修 名古屋大学 減災連携研究センター 特任准教授 **倉田和己**

豊山町は、愛知県の中では比較的災害の危険性が低い自治体です。しかし、備えをしないで良いわけではありません。空の玄関口たる豊山町は、県全体の基幹的広域防災拠点となります。つまり、皆さんの備えにより豊山町が災害に強くなれば、その分だけ県全体も強くなるのです。このガイドブックを活用して、豊山町を一層「小さくても頼れる町」としていただくことを願っています。